

三千人塚(府中市)

正面の大きなエノキは府中の名木百選に選ばれている/その下のマウンドが三千人塚/西側から見たところ



説明板と板碑が立っている



鎌倉時代から室町時代の有力者一族の塚(墓)らしい

東京都指定史跡

三千人塚

所在地 府中市矢崎町二丁目二十一番二号
指 定 平成十七年二月二十二日

三千人塚は、江戸時代の地誌『武蔵名勝図絵』などにも紹介されている由緒ある塚です。塚の上には、多摩地区最古となる康元元年（一二五六）の板碑が建ててあり、「板碑の立つ塚」として、昔から注目されてきました。

昭和三十年に地元の郷土史家により、この塚の西側が発掘調査され、鎌倉時代から南北朝時代の蔵骨器（四個）が出土しています。

平成十七年に学術調査を行ったところ、塚の東側から、石にお経の文字を写した「礫石経」が多量に出土しました。この調査により、現存の塚の高まりは、元弘三年（一三三三）の分倍河原の合戦で亡くなった三千人の戦死者を埋葬したという伝承とは関係がなく、江戸時代に造られたものであることがわかりました。

三千人塚は、鎌倉時代から室町時代の在地の有力者一族による小さな塚（墓）の点在した場所が、江戸時代には信仰の対象となり、地元の文化財として今日まで大切にされてきたといえます。

平成十八年三月一日

東京都教育委員会

文化財を大切にしましょう

標柱には「えのきが高い三千人塚」と記されている



「板碑の立つ塚」と呼ばれていた/1256年造立の銘を刻む多摩地区最古の板碑と云う



南側から見たところ



近づいて見たところ



こな塩梅



少し退いて見たところ



参考ホームページ

<https://www.city.fuchu.tokyo.jp/kirari/sagasu/theme/miryoku/sanzenninduka.html>

http://rekishi.tokyo/ruo_tokyo/fuchuu/20120330_3.html

<https://blog.goo.ne.jp/1938121yasumaro/e/4957484c884baa98efded8db82172f62>

